



1973年大阪生まれ。2007年に来越し塗装業を開始
仕事をしていくうちに、ベトナムの建物の悲惨な現状を知る
“この状況を打破する”べく2015年に一番塗装を設立する
綺麗で長持ちさせる為に日々試行錯誤しながら
今日もベトナムの工場メンテナンスの向上に奮闘中

知らないと損する工場メンテのツボ

壁のメンテナンス (後編)

第七回

ベトナムで工場を管理している日本人の皆さんに知って得する情報をお届けする「知らないと損する工場メンテのツボ」。第七回目となる今回は前回に引き続き“壁のメンテナンス”をテーマにお届けします。

●外壁のクラック

前回は、壁を伝わって雨水が流れることで外壁が汚れてしまい、毎年塗り替えが必要になるケースをお話しましたが、実は、外壁に取っての水のデメリットは汚れだけではなくありません。外壁などのコンクリートの建造物には、様々な理由からどうしてもクラックと呼ばれるヒビが出来てしまうことがあります。このクラックが外壁を含む様々なコンクリート建造物にとっては、非常に大きなリスクになります。

●塗装は無意味か?

クラックがなぜ問題になるかと言いますと、やはり水と大きな関係があります。クラッ

クがあるとそこから水がコンクリート内部に浸透していきます。コンクリートは、元々アルカリ性の性質がありますが、水が浸透するとアルカリ成分が水に溶け込みます。このアルカリ成分を含んだ水が外壁にしみだしてくると白っぽい汚れが浮き出てくることになります。また、コンクリート内部のアルカリ性が弱くなると内部の鉄筋が酸化し易くなり、鉄筋の錆を誘発してしまいます。コンクリート内の鉄筋が酸化すると錆が発生するだけではなく、膨張して内部からコンクリートを破壊してしまいます。また、コンクリートのアルカリ性が抜けきってしまうと、コンクリート本来の特性が失われ、砂の様な状態になってしまい、手でも簡単に穴が空けられるような状況になってしまいます。

ここまで、コンクリートの劣化が進んでしまうと、大規模な補修作業が必要となりますので、塗装だけの話ではすまなくなってしまう、莫大な費用が掛かることも考えられます。

●外壁を長持ちさせるためには

このような水による被害を防ぐために最も大事なことは、確実な定期点検です。業者などに依頼して毎年1回は点検作業を行うようにしましょう。

また、クラックの有無や、雨垂れの筋などは目視でもある程度確認可能ですので、自分の目でも時折確認を行うようにしましょう。

クラックなども直に補修を行えば、費用もそれほど掛からず効果的に壁を守ることが出来ます。また、屋根部分などの防水材も気付かないうちに効果がなくなっていることもありますので、普段目につかない屋根なども業者に依頼して定期点検を行うようにしましょう。

一番塗装では、日本製、ベトナム製をはじめとして、様々なメーカーの遮熱塗料をベトナムで実際にテストしており、ベトナム南部の気候に最も適したコストパフォーマンスの高い塗料を選別してご紹介しております。

また、工場の外壁、内壁、床、天井、屋根の塗装に関して無料検査を実施し、詳細に検査レポートを提出しています。建物が大きく傷んでからでは、補修、改修に莫大な費用が発生してしまう可能性もありますので、是非、この機会に工場の無料検査にお申し込み下さい!

次回、壁のメンテナンス (後編)をお伝えします。
次回も、楽しみに!!



工場の無料診断します!! 詳しくは下記にて!!

最大3年保証

優れた塗装技術

養生、清掃も徹底